

# デンマーク王国ソロー市との友好都市交流について

## ～高齢者福祉先進地との研修をとおした交流～

平成22年7月

宮城県涌谷町総務企画課

平成15年4月、涌谷町とデンマーク王国ソロー市が福祉を中心として、広く各分野で交流、親善を図るべく友好都市協定の締結をしております。この取り組みについて紹介します。

### 1 はじめに

涌谷町は宮城県の北東部に位置し、人口18,000人弱で高齢化率が27%となっており、ご多分に洩れず、過疎・少子高齢化が進んでおります。当町では将来の少子高齢化の進展を予測し、昭和61年度、国で第1号となるリーディング・プロジェクトの長寿社会対策の採択を受け、健康と福祉のあるまちづくりとして「涌谷町町民医療福祉センター」を建設し、保健・医療・福祉を一元的にサービスする地域医療包括システムを立ち上げ、「安やかに生まれ」「健やかに育ち」「朗らかに働き」「和やかに老いる」ライフサイクルの確立を目指しています。



涌谷町町民医療福祉センター

また、当町はグローバル社会に向けた農業研修のために、平成10年にアメリカ合衆国サリナス市と国際友好都市協定を締結、民間では涌谷町が日本で最初に金の産出したことによる「金」が縁を持つ韓国扶餘郡林川面繁栄会と涌谷町国際交流協会が平成9年に友好親善協定を締結しております。

アメリカ合衆国サリナス市には毎年中学生を派遣し、韓国扶餘郡林川面とは隔年でそれぞれ小学生の派遣交流を図るなど海外都市との人的交流に積極的に取り組んでおります。

### 2 デンマーク王国ソロー市との交流

デンマーク王国ソロー市とは、介護保険制度の導入に向けて更なるサービスの充

実を図るためには施設サービスの整備が必要と考えていた矢先、涌谷町町民医療福祉センターに取材で訪れた共同通信社の紹介により、先進地であるデンマーク王国ソロー市の施設研修が実現することとなりました。



デンマーク王国ソロー市との調印式  
生きがいの持てる生活を送ることへの支援体制が整っており、当町が目指すものと合致しております。

デンマーク王国ソロー市は、当時からデンマークでも福祉サービスの先進地として知られており、「力を貸す」と同時に「勇気づけ、力を与える」という考え方で福祉に取り組んでいます。

在宅介護などのサービスだけでなく老人や障害者などいわゆる社会的弱者の方々が自立し、

交流については、平成9年からはじまり、平成11年、12年と町長をはじめ、議会議員並びに関係職員が訪問、研修を行い、滞在中は心温まる歓迎をいただきました。

また、平成14年には友好都市協定締結に向けた涌谷町長の親書と招待状を携えて議員及び職員を派遣し、平成15年高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」の開所式にデンマーク王国ソロー市のハンセン市長をはじめ、関係職員3名にご来町いただき、福祉を中心とした各分野で幅広く交流、親善を図るべく友好都市協定の締結をいたしました。

その後も、看護師、作業療法士、介護福祉士など介護技術者を中心にデンマーク王国ソロー市に派遣し、介護技術習得の研修を行っております。

この交流が縁で、本年5月には在デンマーク特命全権大使である近藤誠一氏にわざわざご来町いただき、ご講演をいただいております。今後は福祉だけではなく、初期目的のいろいろな分野での交流も視野にいれた取り組みを考えております。



ソロー市での施設研修